SG5　成果報告

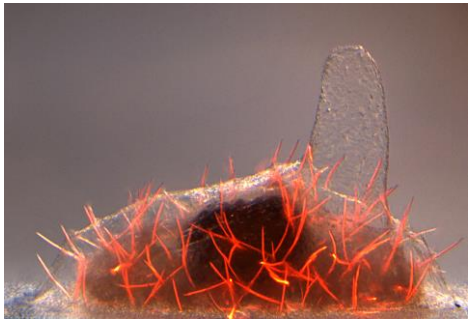
生物物理学教室分子発生講座
荻田豪士

活動内容

1. 各メンバーの研究内容の発表
2. 集団運動に関する論文の輪読
3. マガンの飛行観察

取り扱った内容

群れ　　マガンの群

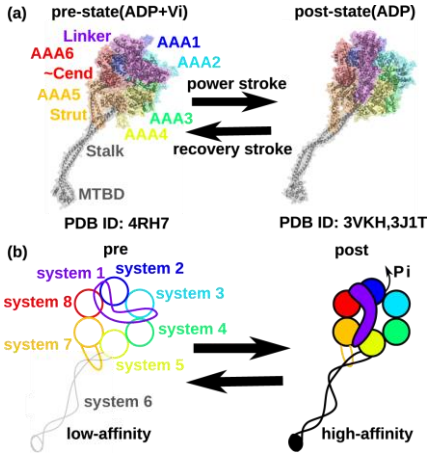


多細胞　　ウキクサ
カワカイメン

細胞性粘菌

単細胞

テトラヒメナ



核酸・タンパク　　ダイニン・DNA

画像提供:久保さん、磯田さん
http://www.research.kobe-u.ac.jp/fsci-suzaki/microgallery/members/tetrahymena.html

SG5で得たこと

- 各階層の研究テーマについて知見を深めることができた。
- 普段全く交流することのない分野の人達と議論することができた。
- 気軽に相談できる他分野の知り合いができた。

SG5

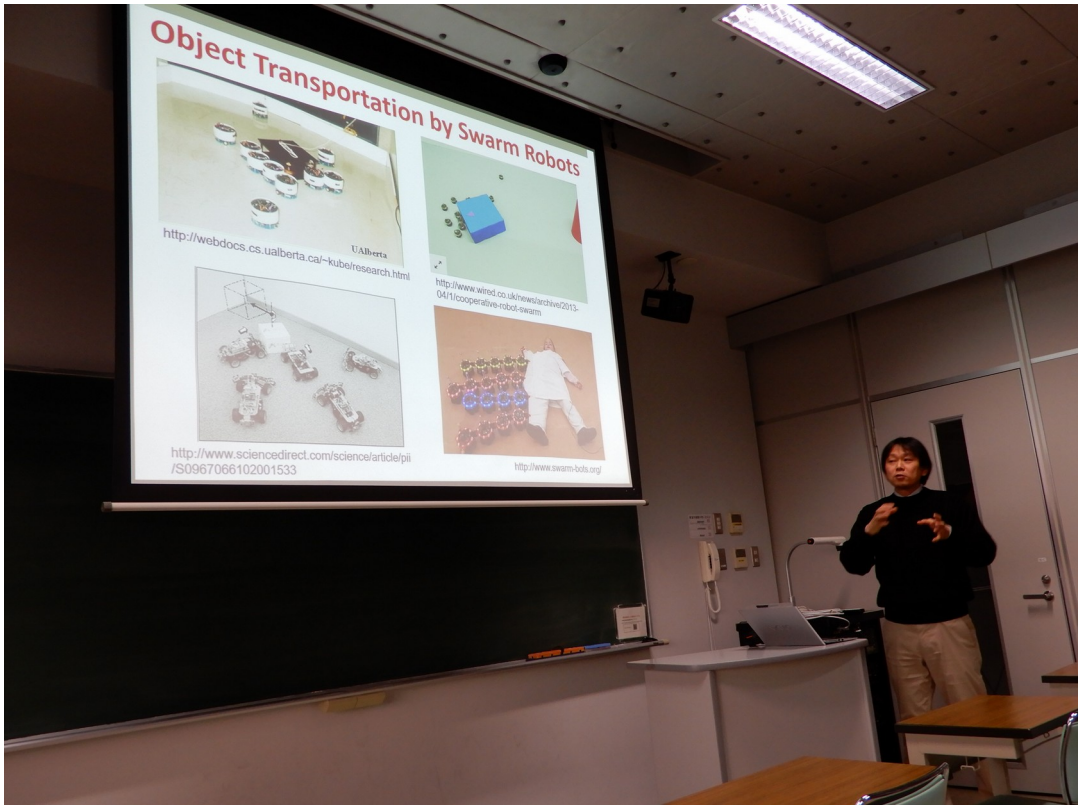
生命現象に潜む階層を横断する数理的原理の探求

活動内容

- 各自の研究内容の発表
- 論文の輪読（Collective motion, Tamás Vicsek, Anna Zafeiris）
- 東北でのマガン観測

早川美徳教授
マガンの群れの動態計測とモデル化

菅原研教授
相互作用するロボットの群れ



蕪栗沼でのマガン観測

- 宮城県蕪栗沼にてマガンのねぐら入り、飛び立ちを観測